

## エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム (EcoDePS) 2018

### 開催趣意書

開催日時: 2018年12月5日(水)  
開催場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館(東京都新宿区大久保 3-4-1)  
主催: エコデザイン学会連合  
後援: エコプロダクツ大賞推進協議会(予定)  
幹事団体: 特定非営利法人エコデザイン推進機構  
組織委員長: 加納 誠 山口東京理科大学経営審議会・教育研究審議会委員  
実行委員長: 所 千晴 早稲田大学教授  
事務局: エコデザイン推進機構/エコデザイン学会連合事務局  
(イートレイ(株))

#### シンポジウム開催趣意

エコデザインシンポジウムは、高い意識をもった企業の技術者・環境担当者が、企業の枠を越えて、大学研究機関の研究者や業界団体とも協力して1999年に始まりました。2000年にはこれに呼応して、学会の枠を越えたネットワーク、エコデザイン学会連合、およびその事務局組織としてNPOエコデザイン推進機構が設立され、以来、10回のエコデザイン国際シンポジウム、8回の国内シンポジウムを開催し、海外との連携、情報発信を通じて、エコデザインコンセプトの普及に努めてまいりました。昨今の厳しい経済情勢にも関わらず、2013年には韓国、2017年には台湾で共同開催されるなどエコデザイン国際会議の規模は拡大しつつあり、アジア最大のエコデザイン国際会議となっています。

国内では従来、「エコデザインジャパンシンポジウム」を開催してまいりましたが、都市鉱山のような資源の有効活用に関するテーマに加えて、東日本大震災を契機とした省エネルギーやスマートグリッドのような社会のエコデザイン、あるいは、サービス化による地域経済の活性化なども重要な課題になりつつあります。このようなエコデザインに対する社会ニーズの広がりに対応するべく、2014年からは「エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム」へと改称し、製品、社会システム、サービスなどを対象としたエコデザインに関する学術研究から、実用化技術・最新製品開発、ビジネスへの適用事例までを幅広く議論しています。更に近年の、国連によるSDGs採択や欧州のサーキュラーエコノミー(CE)の動き、国内でのSR(CSR)の高まりに対しても、活発な議論が展開されています。こうして、2016年12月に開催したEcoDePS 2016では、産業界とアカデミアの両方から多くの参加者を集め、活発な議論が行われました。

2016年に引き続き、2018年12月にEcoDePS 2018を開催いたします。産業界とアカデミアの有機的な連携、産業界における実用化に向けた取り組みの発表、あるいは、若手研究者の成果発表の場を提供することを目的とします。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。